

前年度の事故・災害実績・反省	安全目標	目標を達成するための具体的施策
<p>1. 2020年度 事故災害件数 年度目標 20件以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両事故 ①物損事故 29 件 ②人身事故 2 件 ・作業事故 ①事故 0 件 ②その他（火災等） 0 件 ・業務災害 ①3日以内の災害 6 件 ②4日以上災害 2 件 <p>2. 前年度の反省</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標事故件数の未達 ・年間目標事故件数について未達成、業務災害8件、減少にも至らず。昨年度対比で、追突事故⇒4件増、後突事故⇒同件数、負傷災害⇒1件増、その他合計⇒10件増加 ・事故発生数の増加 追突事故5件、後突事故7件と相変わらず、運送業における多発事故の傾向と同じく、減少出せず。「追突事故⇒車間距離の確保、後突事故⇒後退前の状況確認」を確実に実施すれば防げる事故であり、乗務員の運転姿勢から確認行動まで、徹底した実技指導を継続、習慣化させる必要がある。 	<p>1. 事故・災害目標件数・・・年間 20件以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両事故 ①物損事故 20 件 ②人身事故 0 件 ・作業事故 ①事故 0 件 ②その他（火災等） 0 件 ・業務災害 ①3日以内の災害 0 件 ②4日以上災害 0 件 <p>2. 人身事故ゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心・確かな運転で、信頼のあるプロの証であるマナー運転の励行。 ・コンプライアンス強化。（道路交通法、廃棄物処理法の遵守） <p>3. 業務災害事故の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負傷災害を撲滅する。 ・生活習慣を含めた体調管理の改善指導の推進。（ワンポイント宅トレ等） ・リスクアセスメントの継続。 <p>4. 追突、後突事故ゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両事故のその半数が後突事故と追突事故が占めており、運転知識を更に理解させ運転技術に繋がる教育強化を図る。 ・運転開始前に後方目視確認を徹底、習慣化させ、後退事故をゼロにする。 	<p>1. 人身事故ゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラレコのヒヤリハット映像を活用した交通KYTを行い、更に危険感受性を高める。 ・コンプライアンス教育を年間教育項目に追加、計画的に実施、継続する。 <p>2. 追突、後突事故ゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の実技教育項目を、後突事故と追突事故の2項目に絞り集中的に実施、事故ZEROを図る。 ・定期的な安全巡回パトロール、追跡等、ドライバーの気付かない運転特性の確認と指導を行う。 <p>3. 業務災害の撲滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷役作業時における負傷災害対策では、乗務員からのヒヤリハット報告をリスクアセスメントへ展開工学的対策、車両仕様の改善、作業手順の作成、見直しと教育を計画的に実施、継続する。 ・VR教育資料の試験運用等、新たな教育資料による指導。 ・健康維持に大切な、食事、睡眠、運動について具体的な方法で助言指導を行う。（新規乗務員教育、特定乗務員教育時） <p>4. 管理者・乗務員教育の改善と見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行管理者等、共学外部研修を受講、教育スキルを高める。 ・乗務員ハンドブックの更新。 ・特定教育、実技教育、業務に近い体験教育を主に実践で実施する。 ・毎朝、安全指導課主体で無線による安全注意喚起の配信を実施する。

目標・唱和	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次安全目標	荷役作業中の負傷事故の防止	操作手順の遵守で事故防止	雨天スリップ事故の防止	車両接触事故の防止	の運転操作、作業手順ミスによる事故防止	積込作業時の負傷事故の防止	安全不確認による事故の防止	事業所内のトラブル事故の防止	追突事故の防止	バック事故の防止	凍結スリップ事故の防止	車両の整備点検清掃美化
安全唱和 交通事故防止	思いやり ゆずる心で事故防止 ヨシ!	減る危険 度落ちてエコ運転 ヨシ!	密厳禁 速度を控えて 間の確保 ヨシ!	焦る心にブレーキを ま さかに備える 防衛 運転 ヨシ!	帰宅まで ベルトと 気持ちを緩めずに ヨシ!	待つ心 ずる進路に 故は無し ヨシ!	安全、安心、 かな運転 プロ の証 ヨシ!	ルールとマナーと 環境 に模範となろう 運転技 術 ヨシ!	広げよう 心のゆとりと 車間距離 ヨシ!	先ず見て確認 安全確保で発進 ヨシ!	安全支援 ドライバーの心で 事故防止 ヨシ!	載せて走ろう 会社の信頼 思い やり ヨシ!
安全唱和 作業事故・災害防止	作業前 かめよう 元、足元、ヨシ!	基本動作と 正しい手順で 全作業 ヨシ!	安全は 間と心の余裕から ヨシ!	時の 水分補給で フレッシュヨシ!	よく視よう 断の心が事故の元 ヨシ!	油 もう一度 心に戻って 確認 ヨシ!	慣れた作業に落とし穴 作業前のKYを そう ヨシ!	無理なく無茶なく 無駄も無く 安全 作業 ヨシ!	身体が資本 体を労わる 生活 習慣 ヨシ!	身だしなみ 安全を測る パロメーターヨシ!	ゆるめるな ヘルメットのヒモと のヒモ ヨシ!	トラブルフリーで り良いサービス ヨシ!

活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
乗務員安全会議	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	
乗務員安全会議12項目教育(※)	④ ⑤	⑩	⑨	⑪	-	②	⑧	⑦	-	①	③ ⑫	-	
安全協議会	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
グループ安全合同会議	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
指導教育	1 年 末	定期添乗	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		抜打ち	1・9ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		ヒアリング*	1・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	事 故 者	前 年 度	定期添乗	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		抜打ち	3・9ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		ヒアリング*	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2年 上	添乗	1回/年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	抜打ち	適宜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	定 期	添乗2~5年	1回/年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		添乗6年以上(偶数年度)	1回/2年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	抜打ち	適宜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	安全立哨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	KYT	-	◎「ドラレコKYT」	◎「ドラレコKYT」	◎「ドラレコKYT」	-	◎「ドラレコKYT」	◎「ドラレコKYT」	◎「ドラレコKYT」	-	◎「ドラレコKYT」	◎「ドラレコKYT」	-
	実技教育(選抜)	-	◎「バック・後退」	◎「バック・後退」	◎「バック・後退」	-	◎「バック・後退」	◎「車間距離」	◎「車間距離」	-	◎「車間距離」	◎「車間距離」	-
	緊急時対応訓練	-	-	◎和泉	-	-	-	◎六甲、三木	-	-	-	-	-
ドライバースキル教育テスト	-	総合テスト	-	-	-	-	小テスト	-	-	-	-	-	
コンプライアンス教育	◎	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	
コンプライアンス教育(派遣元責任者)	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
管理者	運行管理者外部研修	-	-	6月(2名)	7月(2名)	8月(2名)	9月(2名)	10月(2名)	11月(2名)	12月(2名)	1月(2名)	2月(2名)	3月(2名)
リスクアセスメント(収集業務作業)	リスク抽出	リスク抽出	リスクの見積り	リスクの優先度の設定及び低減措置の検討	リスク低減措置の実施							リスク抽出	
安全専任	安全会議巡回	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	
	現場巡回(含顧客現場)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	選任前・事故後教育(コンプライアンス含む)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	特定教育:新人	-	◎(前年下期)	-	-	-	-	-	◎(本年上期)	-	-	-	
	特定教育:事故者	-	◎(前年下期)	-	-	-	-	-	◎(本年上期)	-	-	-	
運行管理内部監査		(大栄アメット)	(和泉・六甲・三木)	協力的安全巡回(2)	協力的安全巡回(2)	(摂津清運)	(三重中央開発)	協力的安全巡回(2)		協力的安全巡回(2)	協力的安全巡回(2)		
啓発・トピック	春の全国交通安全運動	-	-	優良ドライバー表彰	熱中症予防	秋の全国交通安全運動	-	-	感染症予防	感染症予防	-	年度末無事故無災害運動	

※「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」(2001年8月20日国土交通省告示第1366号 2017年3月12日改正施行)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| ①トラックを運転する場合の心構え | ⑦適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況 |
| ②トラックの安全を確保するために遵守すべき基本的事項 | ⑧危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 |
| ③トラックの構造上の特性 | ⑨運転者の運転適性に応じた安全運転 |
| ④貨物の正しい積載方法 | ⑩交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法 |
| ⑤過積載の危険性 | ⑪健康管理の重要性 |
| ⑥危険物を運搬する場合に留意すべき事項 ※(教育対象除外項目) | ⑫運転支援装置を備えるトラックの適切な運転方法 |